



佛事の常識・非常識



Q:弔電を打つときのヒントとは? A:心のこもった言葉を贈りましょう

最近、葬儀の中で「弔電披露」はすっかり定着しています。これももともとは葬儀に駆けつけられない遠くの方などがとりあえずの手段として送っていたものと思われます。ただ、今では故人や喪主の会社関係や土地の政治家などの名前が次々と読み上げられ、会社や政治家の広告宣伝のようになっているとさえ思えます。

そこで私達が弔電を打つ時の留意点を紹介します。それは「心のこもった文章や言葉」を選ぶということです。よくある「〇〇様のご逝去にあたり、哀悼の意を表します」といった既成の文句では、形式的な印象しか与えません。少しぐらいぎこちなくても、弔電の言葉で故人のことがポッと参列者の頭に浮かんでくるような言葉になると最高でしょう。「生前、こんな方で、こういうところが素敵だったなー」ということを要約したような内容にするといいですよ。要するに思いやりのある言葉です。儀礼的・形式的に弔電を送らないといけない場合はいざ知らず。弔電を送りたいと思った気持ちを率直に表現することです。皆さんからの質問お待ちしております

寺ともさん・ごぼれ話 今回も寺ともさんの生の声や様子をご紹介します。「布ぞうり作り」はあつという

間に4時間もの時間が経ちました。でもその甲斐あって皆さん一人一人に素敵なぞうりができましたね。それも夕映えの会の皆さんがスタッフとして懇切丁寧に指導して下さいのおかげです。トピックスでも紹介しましたが、遠く海を超えて岡山からご参加の方もいらっしゃいました。本当にありがとうございます。そして先月はお芝居の月でもありました。6/20には「法然と親鸞」のお芝居があり、「涙が出るほど感激しました」という方もおられました。また6/28には「防空壕2-高松大空襲-」がありました。空襲で焼けた徳成寺もこんなふうだったのかと思いました。またコミュニティーセンターの「競技かるた」のお誘いを頂いたり、その他先月の仏事Q&Aでの「おとき(食事)」について、「最近では、飲酒運転の厳罰もあり、宴会を催すことがなくなった、住職が帰ると親戚も帰ってしまう」という声も寄せられました。皆さんからのご意見をどしどしお待ちしております♪

名前：マリちゃん

性別：♀

お年：10歳

種類：雑種

好物：納豆ごはん・

煮炊きしたお肉

苦手：生魚(生が苦手)

住所：中島さん宅(高松市)

性格：おだやか

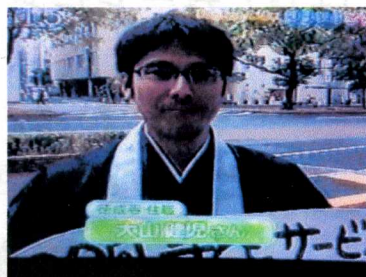
@みなさんのご自慢のペットちゃんを募集しています

ご自慢のペットちゃん



エピソード：マリちゃんは小学校に捨てられていました。明日死ぬというところを保健所から奇跡の生還を果たしました。連れ戻した息子さんの家には、すでに犬が飼われていたので中島さんちにやって来ました。外でのおしっこを振り向いて知らせたり、三步下がって師の影を踏まずではないけども、飼い主の気持ちをよく理解し、人をよく観察するお利口さんです。その代り子や孫が来た時は、喜びを大爆発させもぶれつくそうです。いいぞ、マリちゃん♪

RSK山陽放送イブニングDONDON「来まい来られい」



RSK山陽放送毎週月曜日から金曜日まで午後4時より放送の「イブニングDONDON」のお知らせコーナーに時々呼んで頂いています。6/3は「お葬式と相続」の勉強会を紹介しました。

たまに水曜日に出ることがあります。お見逃しなくご覧ください。

おまけ

住職が「着した作務衣で布ぞうり作り」に初挑戦。夕映えの会の先生に手伝ってもらって見事に完成させました。「はもごちがGood!」だぞです。👍👍

@:かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348にご連絡を